

人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり

第88号

令和6年2月1日
発行

社協だより

かがやき



子ども食堂の様子

も く じ

- P2…… 第14回甲斐市社会福祉のつどい
- P3…… 福祉ポスター入選作品紹介
- P4・P5… 特集「地域福祉を盛り上げる
学生ボランティア」
- P6・P7… 子ども食堂
- P8…… 冬休み食料支援 / 車いすの寄贈

安心と笑顔を「食」でつなぐ 子ども食堂

学校や家庭以外の子どもの居場所や孤食解消を目的に子ども食堂を実施しています。食事に加え、様々なレクリエーションで交流したり、学習をしたりと毎回工夫をしています。

詳しくは、6～7ページをご覧ください。

甲斐市社協では、「子ども食堂」のほか「子育てサロン」や「子ども食料支援」(P8)など子育て世代と子ども達を応援する取り組みを行っています。



Kagayaki
トビックス



社会福祉法人
甲斐市社会福祉協議会
<https://www.kaishakyo.or.jp>



〒400-0123
山梨県甲斐市島上条 3163 敷島保健福祉センター内
TEL.055-277-1122 FAX.055-277-1284

令和5年度 福祉ポスター入選作品

「人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり」をテーマに市内の小学4年～6年生を対象に福祉ポスターを募集しました。529点の作品が寄せられ厳正な審査の結果、36点の入選作品が選ばれました。



飯島 朱吏紗 (敷島小)



大芝 琉愛 (玉幡小)



加藤 里歩 (竜王西小)



石川 怜璃 (敷島南小)



鮫田 楓人 (双葉東小)



渡邊 陽向 (竜王南小)

- 佳作**
- ★赤池 京輔 (双葉東小)
 - ★雨宮ゆり香 (竜王小)
 - ★市川 蒼真 (竜王北小)
 - ★大堀今日香 (敷島南小)
 - ★岡田あんじゅ (双葉東小)
 - ★長田 星 (敷島南小)
 - ★小澤 結愛 (敷島南小)
 - ★串田 一熙 (双葉東小)
 - ★小松 真大 (玉幡小)
 - ★佐保 隼誠 (竜王北小)
 - ★清水 菜帆 (双葉東小)
 - ★鈴木こころ (玉幡小)
 - ★砂畑 碧音 (双葉東小)
 - ★田邊 ゆう (竜王北小)
 - ★築地 貴一 (敷島北小)
 - ★直井 結愛 (竜王小)
 - ★永井 柊 (竜王南小)
 - ★長谷川 渚 (竜王南小)
 - ★深澤 瑠希 (竜王南小)
 - ★福井 結香 (竜王東小)
 - ★藤原 唯愛 (双葉東小)
 - ★保坂 宗亮 (敷島南小)
 - ★保延 将太 (竜王北小)
 - ★望月 漣斗 (玉幡小)
 - ★安尾 莉生 (竜王小)
 - ★山田 竜輝 (敷島南小)
 - ★山本 桃子 (玉幡小)
 - ★吉野久美子 (竜王北小)
 - ★米山 絢人 (竜王北小)
 - ★米山 莉結 (竜王南小)

福祉ポスター選考委員 講評

福祉ポスターの審査にあたり、今年も甲斐市内全小学校から多くの出品があり、小学生から福祉に対する意識を高めることの大切さを感じています。

そうした中で、本年度の最優秀作品の「よりそう心 さしだす手」については、中央のハートに対し、様々な年代が笑顔で手を重ねる図案から、文案に象徴される“寄り添い”“支え合う”自分のことも周りの人も大切にす精神、日頃から生命を尊重し、思いやりの心、助け合う心を育てていく気持ちが表れている作品に仕上がっています。

また、優秀作品についても、「咲かせよう 福祉の心」「声をかけ合い 助け合い」「つながろう ささえ合おう」「みんなえがお」「今できることをしよう」など、文案やアイデアが工夫され、「こうなったら良いな」、「こんな未来にしていきたいな」という気持ちにあふれ、訴える力のある作品です。全般的に描画力も優れ、細部まで丁寧に仕上げる作品や、レタリングも工夫され、構図や色合いなどの工夫が見られる作品など、描くことにより福祉に対する関心が深まったと思います。佳作についても、多くの児童が福祉に対する意識を高め、社会福祉全般を考える良い機会となったのではないのでしょうか。



竜王駅南北自由通路にも展示しました

第14回甲斐市社会福祉のつどいを開催しました

11月12日(日)竜王北部公民館において、第14回甲斐市社会福祉のつどいを開催しました。

長年にわたり地域福祉に貢献のあった、民生委員・児童委員、ボランティアの皆さん等の功績に対し、表彰状及び感謝状の贈呈、また、福祉ポスターの入選者の表彰を行いました。

来賓として、保坂市長及び赤澤市議会議長から、ご祝辞をいただきました。

第2部は、社協わくわくタイムと題し社会福祉協議会の活動を紹介した後、甲斐市や社協の事業などを問題にした〇×クイズを行い、大人も子どもと一緒に楽しみました。



保坂市長(来賓祝辞)



被表彰者代表謝辞

社協わくわくタイム! ~見て・聞いて・楽しもう~

◆社協の活動紹介

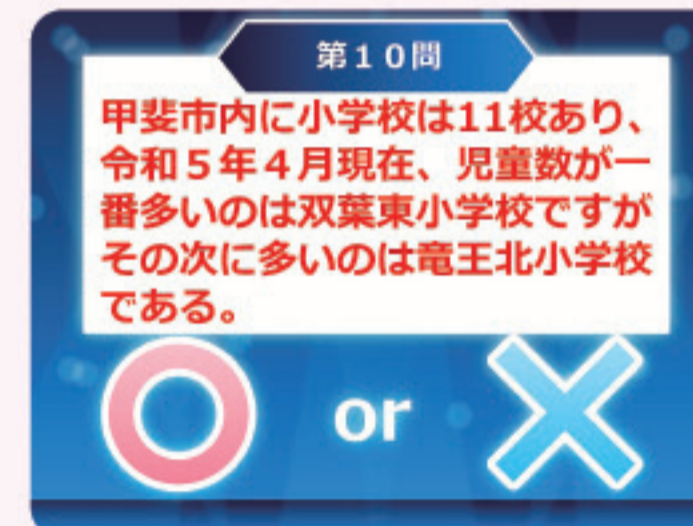
社協の事業の中で、主に子どもを対象にした取り組みを紹介し、社協に対する理解を深めていただきました。



社協事業の紹介

◆社協〇×クイズ

社協や甲斐市に関する問題のほか、子ども達の得意な問題を取りまぜて出題しました。



〇×クイズ



◆お楽しみガチャ

最後まで参加してくれた子ども達にはガチャのおまけ付きでした。



「何が当たるかな」



「こんなの当たったよー」

甲斐市社会福祉協議会会長 表彰状・感謝状 贈呈者

(順不同・敬称略)

【民生委員・児童委員功労表彰】

一瀬 良子 加々美 薫

【ボランティア活動功労表彰】

個人 石橋 悦子 田澤 美幸
田中 寛 戸井 弘幸
望月 久恵

団体 オウ・デ・ヌウ
カナリーナ

【金品寄付感謝状】

三枝 やよい 深澤 圭子
古屋 明美



オウ・デ・ヌウ



福祉ポスター最優秀賞

社協だより わがやき

福祉ポスターの作品と入賞者は次ページをご覧ください。

●甲斐市ボランティアセンター
(甲斐市社会福祉協議会)
甲斐市島上条 3163
☎ 055-277-1122
☎ 055-277-1284

Go 甲斐 ボランティア

特集! 「地域福祉を盛り上げる 学生ボランティアを取材しました」

甲斐市社会福祉協議会では、子ども食堂や学習支援をはじめ、施設訪問や地域清掃活動、災害時の支援活動など、様々な個人や団体のボランティアを育成支援しています。
ボランティアに関わっていただいている方の年代は様々ですが、令和5年度は多くの学生にボランティア協力をいただいています。
今回は、2名の学生にインタビューしました。今後を担う「若者の声」をお届けします。

一人目は、川崎笑(かわさきにこ)さんです

簡単に自己紹介をお願いしますー

現在、甲府第一高等学校2年生の川崎笑です。ボランティア活動を始めて一年目です。

今はどんなボランティアをしていますかー

甲斐市社協で実施している子ども食堂や学習支援のボランティアを中心に、夏休みボランティア体験や子育てサロンの運営補助のボランティアをしています。
甲斐市社協主催以外では献血バスのボランティアや南部公民館まつりでのバルーンアートのボランティアを経験しました。



参加した子ども達と笑顔で接する川崎さん

ボランティアをはじめたきっかけはー

大学の進路や将来の夢を探すなかで、色々なことを経験したいと思ったことがきっかけです。ボランティア活動は私にとって大きな刺激となり、視野が広がったと感じます。

ボランティアのやりがいを教えてくださいー

ボランティアは無償活動ですが、なにかをもらっている気持ちになります。人の温かさや笑顔、非日常な経験など、全てが自身のやりがいにつながっていると実感しています。

最後に一言お願いしますー

個人ボランティアで得たやりがいを多くの人に知ってもらいたいと思い、友人と一緒にボランティアに参加したこともあります。一緒に活動することで喜びを共有することができ、私にとってさらに成長するきっかけとなりました。
学生の皆さん、是非一緒にボランティア活動してみませんか。



南部公民館まつりバルーンアートボランティアの様子



甲府第一高等学校で一緒に活動するボランティアの皆さん



運営補助として受付なども率先して行う川崎さん

一人目は、金丸瑞季(かねまるみずき)さんです

簡単に自己紹介をお願いしますー

現在、山梨県立大学看護学部4年生で学生ボランティアサークルCHI×COの代表をしています。

「CHI×CO」は山梨県立大学の学生サークルで、主に看護学部のある池田キャンパスで活動しています。
「CHI」は地域、「CO」は貢献やコミュニケーションの頭文字です。サークルの名前には、大学と地域のつながりをより一層深め、そして学生や教職員のキャンパスライフをより豊かにしていきたいという思いが込められています。



甲斐市社協の学習支援事業で勉強を教える金丸さん

ボランティアのやりがいはー

メンバーの一人は、「子どもたちが楽しそうにしている姿を見られた時に参加してよかったと感じる」と話していました。



CHI×CO主催のキッチンカーイベント、学生への食糧支援の様子



CHI×COと環境委員会による学内のミニ農園の様子



学生ボランティアサークルCHI×COの皆さん

最後に一言お願いしますー

ボランティアを通じて子どもだけでなく子どもの保護者、職員や他のボランティアの方との関わりが刺激になっています。
自分の活動で誰かが笑顔になってくれるという「笑顔の連鎖」を感じられることがやりがいになっています。

ボランティアを始めるにあたって「自分が参加しても大丈夫だろうか」「うまくできるだろうか」という不安や緊張がありました。しかし勇気をもって一歩踏み出すことでいろいろな人との出会いや、新しい世界があることに気づきました。
「やってみたい」という気持ちと行動力が自身の成長につながっていると感じています。

甲斐市ボランティアセンターでは、学生ボランティアを応援しています。
今回紹介させていただいた学生ボランティア以外にも、多くの学生がボランティア登録をしています。学生の今だからこそ経験できる活動や学生の視点や感性、学生でなければできない活動が多くあります。これから、より多くの大学生や高校生に少しでもボランティア活動に携わっていただき、地域の担い手として県内のボランティアを盛り上げていただきたいと思います。
学生の皆さんでボランティアを始めてみたい、ボランティアについて知りたい、という方はお気軽に甲斐市ボランティアセンターにご相談ください。

【相談受付時間】
午前8時30分～午後5時15分
※祝日を除く月～金曜日

【他社協共催子ども食堂】

12月2日(土)に葦崎市社協と共同で子ども食堂を開催。

会場の葦崎市民交流センターニコリのミアキスには、葦崎市・甲斐市在住の小中学校の児童生徒とその保護者26名が参加し「100万人のクラシックライブ」出演のクリスマスコンサートやケータリング方式の食事を楽しみました。



※今年度は3月に昭和町との共催子ども食堂も予定しています。

【学習支援事業】

7月29日(土)、8月19日(土)、9月16日(土)の3日間、学生ボランティアが勉強を教える学習支援を兼ねた子ども食堂を開催。

市内在住の小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に開催。



勉強のあとはみんなで楽しく食事



休憩中にはレクリエーションで交流

子ども食堂は共同募金の配分金や皆様の善意で運営しています。
令和6年度の実施にあたり、寄付も受付けています。今後とも皆様からの温かなご支援ご協力をお願いいたします。

令和5年度 社協の子ども支援事業

「食」でつながる子ども食堂

甲斐市社協では、学校や家庭以外の子どもの居場所づくり、また孤食の解消を目的として児童生徒を対象に、子ども食堂を令和3年度から、学習支援を兼ねた事業を令和4年度から実施しています。

令和5年度に実施した内容を一部紹介します。

【子ども食堂】

令和5年6月24日(土)、8月27日(日)、10月28日(土)、12月23日(土)に市内在住の小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒とその保護者を対象に子ども食堂を開催。6月はスナッグゴルフ体験、8月はボランティア団体「探求空間」の協力でホバークラフト工作等、10月はハロウィンバッグづくりとお菓子詰め放題のイベント、12月は餅つきとクリスマスツリー作りを行いました。



子ども食堂の様子



スナッグゴルフ体験



科学実験体験中



“カレーのおかわりください”



“たくさん食べるぞ”



つきたてのお餅をみんなで食べました



サンタさんからのプレゼント!



ハロウィンバッグづくり

※今年度は、2月17日(土)にも子ども食堂を開催する予定です。

冬休み子ども食料支援

給食のない冬休みに向けて、令和5年12月11日から15日の期間、子ども食料支援に申し込まれた児童扶養手当受給者約250世帯を対象に、冬休み子ども食料支援を実施しました。お米・食料の他、日用品(生理用品)などもお渡ししました。この冬休み子ども食料支援は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

食料支援の様子



ボランティアによるお米袋詰め、食料袋詰め

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

寄付者の紹介 10/1 ~ 12/31 (順不同・敬称略)

食料等

個人

中村 こはる、笠井 翔銘、仙洞田 信行、西澤 孝二、望月 圭子、乙黒 功長田 憲男、長田 休道、乙黒 勝弘、宇橋 純子、渡辺 久子、小林 英記
岡田 千恵子、鈴木 初恵、鰻池 昇、柳本 貢一(粳米9袋)

企業

生活協同組合ユーコープ若草センター、生活協同組合パルシステム山梨長野(株)ろすまりん、(株)セブンイレブンジャパン、双葉農の駅、(株)はくばく CornerPocket (ハヶ岳の手作りパン屋)、(株)テンヨ武田
(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ、(株)ちぼりホールディングス
(株)菱和園、八雲製菓(株)、(株)フローレン

団体

吉沢子どもクラブ、甲斐市職員有志、甲斐市商工会青年部・女性部
県庁フードドライブ、敷島荘職員有志

その他、市内外11か所の寄付箱や匿名で寄付を頂きました。

現金等

小林 弘正	30,000 円	(子ども食堂のために)
三枝やよい	100,000 円	(社会福祉事業のために)
清水 正明	300,000 円	(子ども支援のために)
望月 和子	5,000 円	(社会福祉事業のために)
望月 春秀	5,000 円	(子ども食堂のために)



甲斐市商工会青年部・女性部



株式会社テンヨ武田



パルシステム山梨長野

こうした社協の活動は、皆さまの善意によって成り立っています。食料・日用品は生活困窮者支援にも役立っています。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

「春休み子ども食料支援」に向けても寄付及びボランティアを募集しています!!

車いす6台を寄贈いただきました

特定非営利活動法人国際ブリアー様より車いす6台をいただきました。

12月13日に、保坂市長にも出席いただく中で、贈呈式を行いました。いただいた車いすは、一時的に車いすの必要な方への貸出し事業等、有効に活用させていただきます。



特定非営利活動法人国際ブリアー